



被爆80周年
《Piece of Peace》
平和のかけら

指揮 クリスティアン・アルミンク
Conductor : Christian Arming

広島交響楽団 第28回

廿日市 定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra the 28th Subscription Concert in Hatsukaichi



「ペール・ギュント」と「ばらの騎士」、二つの物語の＜組曲＞を一度のコンサートで楽しめる欲張りな企画。加えてグリーグのピアノ協奏曲まで。音楽監督のアルミンクが指揮する広響の芳醇なオーケストラサウンドを「さくらびあ」で体感しよう！

作曲家二人展 “Grieg & R.Strauss”

グリーグ：劇音楽「ペール・ギュント」組曲より抜粋
(朝、アニトラの踊り、ソルヴェイグの歌、オーゼの死、山の魔王の宮殿にて)
Grieg: Peer Gynt, Suite Selection

グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調 作品16
Grieg: Piano Concerto in A minor Op.16

リヒャルト・シュトラウス：歌劇「ばらの騎士」組曲 作品59
Richard Strauss: Der Rosenkavalier Op.59

ピアノ 江口 玲
Piano : Akira Eguchi

©kunihisa kobayashi

2025.4.20 [SUN] 15:00開演 (14:15開場)

はつかち文化ホール
ウッドワンさくらびあ大ホール

■入場料 (税込) 全席指定

S席4,500円/A席4,000円 (A席学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。当日要学生証提示。
※学生席はその他の割引なし。ウッドワンさくらびあ事務局と広響事務局のみ取扱い。

■チケット発売日 ■さくらびあ倶楽部会員/2月9日(日)
■一般/2月16日(日) ■広響事務局/2月17日(月)

■プレイガイド ウッドワンさくらびあ事務局、広響事務局

●さくらびあ倶楽部会員/500円引 (ポイント対象外。オンラインチケットの取扱いはありません。)

■主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社
■共催/公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団

■特別協賛/  中国電力

■協賛/ウッドワン、岩国中央自動車工業、カワミツ、
サクラオフルワリーアンドディステイラリー、シブヤ、
生活協同組合ひろしま、デリカウイング、フマキラー、山崎本社、やまだ屋

■後援/廿日市市、廿日市市教育委員会

お問い合わせ ウッドワンさくらびあ事務局 TEL0829-20-0111
広響事務局 TEL082-532-3080

アクセス 広電宮島線「廿日市市役所前」駅から徒歩7分
JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩約15分

※駐車場には限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。



広島交響楽団

第28回 廿日市定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra the 28th Subscription Concert in Hatsukaichi

作曲家二人展 “Grieg & R.Strauss”

北欧ノルウェーのグリーグと西欧ドイツのリヒャルト・シュトラウス、二人の作曲家の描く物語が会う。奇想天外な放蕩息子ペール・ギュントの冒険とその生涯と、ウィーンの貴族社会を舞台とした恋愛コメディ。それら様々な場面が目の前に浮かび上がる、素敵すぎる音楽が組曲のダイジェスト版として華麗なるオーケストラサウンドで展開される。アメリカで学び、現在も拠点として活躍するベテラン江口玲のピアノにも注目。北欧のショパンと表されるグリーグの繊細な語り口を絶妙に表現してくれるだろう。



指揮 クリスティアン・アルミンク Christian Arming, Conductor

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍した。2017年から、広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンダ管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスプールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮し、岡山公演では広響と共に演奏した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス/交響曲第1番、マーラー/交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク/交響曲二短調などをリリース。また、シルバ・オクテット、リエージュ・フィルとの共演によるディスクがドイツ・グラモフォンからリリースされた。



ピアノ 江口玲 Akira Eguchi, Piano

東京藝大附属音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業、その後ジュリアード音楽院のピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディーを修了。1992年に大成功を収めたアリスタリーホールでのニューヨークリサイタルデビュー以来、アメリカ、ヨーロッパ、アジアでの主要演奏会場にて演奏を続けてきた。ニューヨークタイムズ紙からは「非凡なる芸術性、円熟、知性」「流暢かつ清廉なるピアニスト」と賞賛されている。

作曲・編曲者としても実力を備えた大胆な解釈と表現技法でリサイタルや協奏曲など国内外を問わず活躍を続けるほか、ギル・シャハム、竹澤恭子、渡辺玲子、アン・アキコ・マイヤース等数多くのヴァイオリニストたちから絶大な信頼を得ている。レコーディングはドイツグラモフォン、フィリップスやNYSクラシックスより多数のアルバムをリリース。最新作はスタインウェイ&サンズの1912年製ピアノ、「CD75」を演奏して録音された「リストII」（NYSクラシックス/2024年発売）。

2011年5月までニューヨーク市立大学ブルックリン校にて教鞭を執る。

現在もニューヨークと日本を往来して演奏活動を行っているほか、洗足学園音楽大学大学院客員教授、東京藝術大学ピアノ科教授を務める。

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市“広島”を拠点に“Music for Peace ～音楽で平和を～”を旗印として活動するプロオーケストラ。2024年4月よりクリスティアン・アルミンクが音楽監督に、徳永二男がミュージック・アドバイザーに就任。下野竜也が桂冠指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには2015年の「平和の夕べ」コンサートでの共演をきっかけに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。またオーストリア、チェコ、フランス、ロシア、韓国、ポーランドで公演を行い、ヒロシマのメッセージを音楽で海外へも発信。これまでに「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞」「ENEOS音楽賞洋楽部門奨励賞」ほか受賞歴多数。2023年には創立60周年を迎えた。 公式Web <http://hirokyo.or.jp/>

